

イカナゴ（コウナゴ）情報 No. 2

— 島牧沖における初漁の漁獲物を測定 —

道総研 中央水産試験場 資源管理部
後志地区水産技術普及指導所 岩内支所

・ 4月26日時点で体長31~34mmが主体

調査の概要

2019年4月26日に島牧海域においてコウナゴの初漁がありました。今年のコウナゴの初漁は、昨年（5月1日）より5日早くなりました。初漁の漁獲物から標本を測定しましたので、結果をお知らせします。島牧漁業協同組合をはじめ、調査にご協力いただいた関係者の皆さん、ありがとうございました。

体長組成と漁期前半の見通し

上の図が4月18日の漁期前調査、下の図が今回の体長組成です。初漁の漁獲物のサイズは11-39mmで、31-34mmの大型群が主体となっていました。これらの群れは、漁期前調査で多く漁獲された23-24mm前後の群れが成長したものと考えられます。漁期前半はこの大型群が漁獲の主体で5月中旬には50mm台に成長すると思われれます。

また、漁期前調査で見られた10-14mmの群れも17-20cm前後に成長し、それよりも小さい後続群の出現も確認されました。

今後も漁獲状況や漁獲物の体長組成の変化を注視していきたいと考えておりますので、引き続きご協力をお願いいたします。

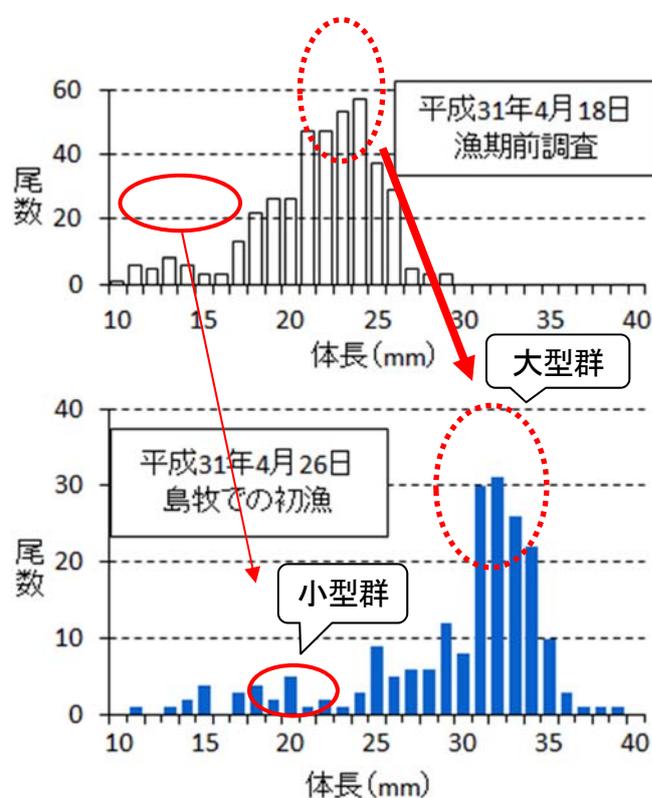


図 漁期前調査（上）と初漁（下）の体長組成